

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	24147	
事業名	多文化共生推進費						
評価担当課	所属名	総)国際部 交流課					
	課長名	細川 秀樹	担当者名	菅原 樹	電話番号	011-211-2032	
施策名	主	世界の活力を取り込む国際戦略の積極展開					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	さっぽろ外国人相談窓口の運営、多言語での生活情報発信、行政窓口等へのコミュニティ通訳派遣や医療通訳ボランティアの育成等を通じたコミュニケーション支援やくらしの支援などを通じて外国人特有の不安・問題を解消する。				
		長期	外国人生活者の孤立化を防止し、地域コミュニティの安定・調和に資する異文化理解を図ることにより、外国人市民と日本人市民の誰もが安心して安全に暮らせる共生社会を実現する。				
	取組内容	外国人の不便不安の解消や地域の安定・調和を図るため、次の事業を実施する。 ①さっぽろ外国人相談窓口事業:行政手続きや暮らしに関する相談・情報提供。 ②行政サービスの翻訳通訳支援事業:行政窓口でのコミュニケーション支援。 ③医療受診コミュニケーション支援事業:医療通訳体制の構築。 ④災害時外国人対策事業:災害時に避難所等で外国人の支援を行う市民スタッフ養成。 ⑤日本語習得支援事業:日本語を学ぶ機会の創出。 ⑥外国人のまちづくり参画事業:外国人がまちづくりに参画できる仕組み構築。					
実施結果	さっぽろ外国人相談窓口の運営、外国人市民の生活に必要な情報や新型コロナウイルス感染症に関する情報の多言語発信、医療機関を受診する際のコミュニケーション支援を実施。また、(公財)札幌国際プラザが実施する、行政窓口等でのコミュニケーション支援を行う、コミュニティ通訳の育成・派遣、医療通訳等の育成、初学者向け日本語習得支援、大規模災害時に同法人に設置する災害多言語支援センターとともに外国人支援に取り組む「札幌災害外国人支援チーム」の育成・認定などに補助金を支出し、多文化共生社会の実現に向けた取組を進めた。						
事業実施における工夫点	札幌国際プラザや市民団体、外国人コミュニティなどの多文化共生に関わる団体と連携し、効率的・効果的な事業の実施に努めた。						
対象者	市民全体(外国籍市民、日本人市民)、札幌に滞在する外国人			開始	0 年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等							
他都市の状況	各都市において、多言語総合相談窓口の設置、医療通訳体制や日本語習得支援体制の整備をはじめとした外国人の暮らしやコミュニケーションをサポートする様々な事業を実施している。						

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	40,252	41,000	36,619	40,000	
うち特定財源	10,287	10,251	22,731	10,251	
人工	0.6	0.6	0.6	0.6	
人件費	4,320	4,320	4,320	4,320	
計(事業費+人件費)	44,572	45,320	40,939	44,320	
事業費の内訳	令和3年度決算	①行政サービスの翻訳通訳支援事業:332千円、②さっぽろ外国人相談窓口:29,975千円、③医療受診コミュニケーション支援事業:4,185千円、④災害時外国人対策事業:1,051千円、⑤日本語習得支援事業:429千円、⑥外国人のまちづくり参画事業:101千円、⑦その他:545千円			
	令和4年度予算	①行政サービスの翻訳通訳支援事業:700千円、②さっぽろ外国人相談窓口:31,906千円、③医療受診コミュニケーション支援事業:4,753千円、④災害時外国人対策事業:1,120千円、⑤日本語習得支援事業:1,171千円、⑥生活ルール・法令理解促進事業:350千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	多文化共生社会の実現に向けて共同で取り組む民間団体数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	14	17	17	20	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	外国人生活者に対し暮らしに関わる情報提供や相談を多言語で行う総合窓口の運営、情報を一元化したホームページなどによる多言語発信、医療機関受診時や災害時のコミュニケーション支援体制の構築、日本語習得支援事業の実施など共生社会の実現に向けた事業を行うことにより、外国人の不便・不安や問題の解決に寄与することができた。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	札幌市には14,000人以上もの外国人が暮らししており、外国人の孤立化を防止するための各種共生施策を実施していく必要があり、政府が策定した「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」でもさらなる共生施策の充実が求められている。実施にあたっては、国際プラザや民間団体とも連携を図り、限られた資源の中で適正規模の事業を実施している。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	長年、市民団体等とともに地域の多文化共生の推進に取り組んできた、国際プラザへの委託や補助を行うことにより、効率的・効果的な事業実施を図っている。 また、外国人支援を行う各団体と連携することで、より広い事業展開が期待できる。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	暮らしに関わる行政情報の発信、一元的相談窓口の設置など、外国人が安全・安心に暮らせるサポート体制を構築している。また、「札幌災害外国人支援チーム」の育成・認定により、災害時の支援体制の強化も行った。一方で、医療通訳体制の整備や日本語学習支援など求められている課題にも着手。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	医療通訳、日本語習得支援に関する事業の効果的な実施について検討するほか、市役所全体の多文化共生の意識情勢を図る。				
前回の評価	● A      ○ B      ○ C      ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	医療通訳制度の実施方法の見直し		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A      ○ B      ○ C      ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	さっぽろ外国人相談窓口の運営、多言語による情報発信のほか、医療通訳制度、日本語習得支援を行い、外国人が安心して暮らせる環境整備を行った。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善      ○ 現状維持      ○ 休止・廃止 札幌に暮らす外国人が安全・安心に暮らせるよう、行政サービスにおける多言語発信の充実、医療通訳制度や日本語学習支援などの仕組みづくりなどを進めていく。			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 日本人と外国人の双方の異文化理解を促進する		見直し効果額	0 千円